

7-10. 社会教育施設・講座利用状況

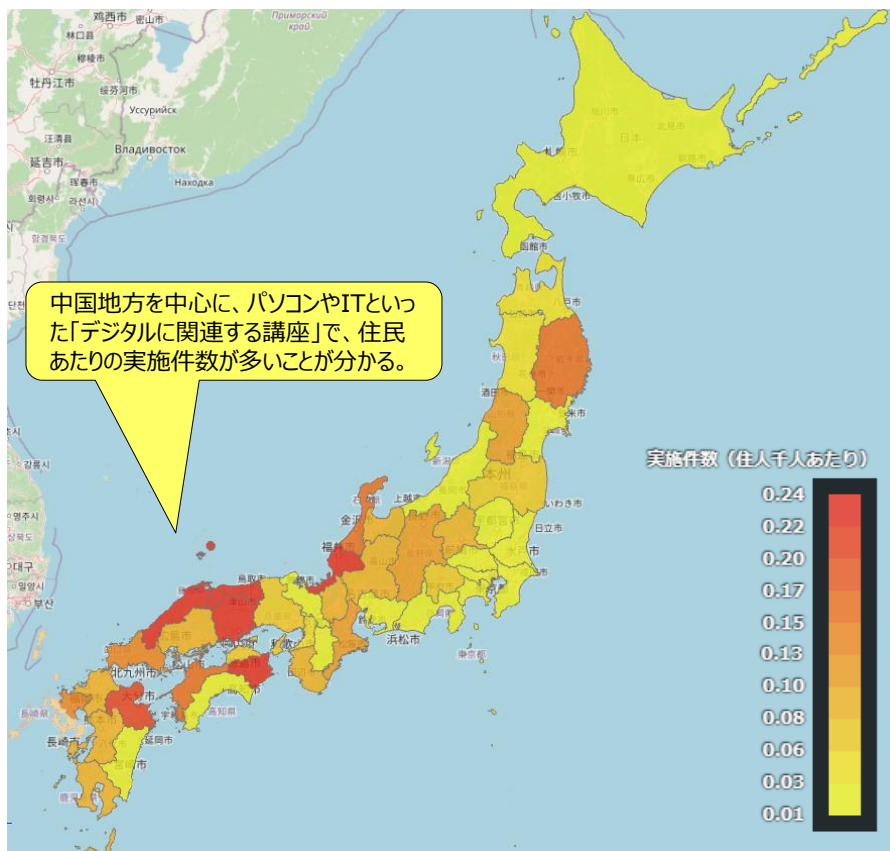
(データ出所：文部科学省「社会教育調査を活用した地方公共団体のEBPM推進に関する調査研究」、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」)

- 図書館や博物館、公民館といった生涯学習の機会を提供する「社会教育施設」の利用状況や、社会教育施設で実施している「学習講座の実施状況及びその参加状況」について、市区町村単位で把握することができる。
- この結果から、指定した自治体の社会教育における取組状況や立ち位置、人口規模に応じた取組状況が把握できることで、社会教育施設の効率的な運用の検討や、社会教育行政の活性化策の検討に活用できる。

※データは、2008年、2011年、2015年、2018年。

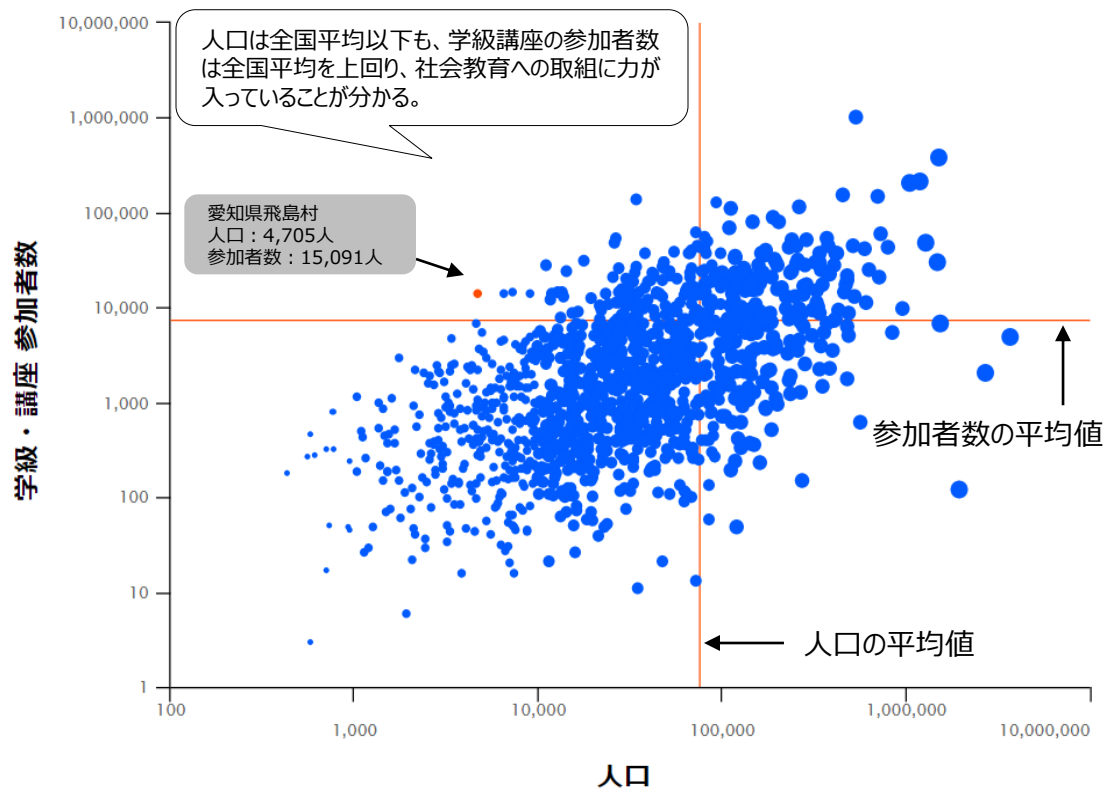
ヒートマップで講座の実施状況を分析。

2018年、公民館での「パソコン・IT」講座の住民千人あたり実施件数



散布図で自治体の立ち位置を分析。

2018年、社会教育行政が実施主体の学級・講座参加者数



※社会教育行政とは、「教育委員会と首長部局」を指す。